

認定NPO法人アンケート

法人名： NPO 法人三郷早稲田ライフサポートネット

担当者名： 村岡正道

Q1 現在活動している主な事業について教えてください。

- ① 月曜日から金曜日まで、高齢者向けの地区サロン事業。行事は、曜日別に、展開。
因みに、月曜日・金曜日→麻雀・囲碁・将棋
火曜日→手芸・ビーズ 水曜日→絵手紙・布ぞうり・写経・小物づくり
別途毎週水曜日、10時から、ウォーキング。
木曜日→みんなで楽しく歌と体操、月2回、詩吟、など
- ② 介護保険適用外の生活支援サービス。
- ③ 毎週金曜日15:00～17:00「小学生放課後学習サロン」を開催し、教師OGにより、宿題やわからないところを教える場として運営。(無償)
- ④ 定期的に、地元医療機関の協力を得て、「健康講座」開催。

Q2 認定を取得しようと思った理由を教えてください。

NPO 法人設立 3 年目を迎えた年、設立当初は、熱い思いを共有し活動できるが、年数が経つと、やがて理念・目的から外れ活動が停滞している NPO 法人を目の当たりにした。当法人も役員・スタッフが高齢者であり、他人ごとでない。設立理念を共有しながら、新たな仲間を迎えるためにも、持続可能で発展する法人とするためにも、内部管理・組織力強化・信用力強化・運営資金調達力強化のためにも、認定法人取得が最善であると考えた。

Q3 認定取得までに苦労された点をお聞かせください。

- ① 私たちのような小規模法人にとって、認定取得に携わる人材がいなかったため、一人で準備せざるを得なく負担感が大きかった。
- ② 認定の条件をクリアするための、資料整備に時間を要した。
- ③ NPO 法人設立時から、認定法人になる方針で準備してゆかなければ、取得はなかなか厳しいのではないかと思う。

Q4 認定を取得されたことで法人の運営や活動に何か変化はありましたか。

- ① スタッフの意識・意欲向上に役立った。
- ② 行政との信頼構築に役立った。
- ③ 利用者からの信頼度が増した感じ。
- ④ スタッフ・役員間で理念が共有でき、ぶれない法人とすることができた。
- ⑤ 市からの介護予防事業の継続委託ができるようになり、資金面で安定的な運営基盤ができるようになった。

Q5 多くの方からご支援をいただくためにどんな工夫をされていますか。

- ① 参加者のニーズを極力吸い上げ、行事予定に組み込む努力をしている。
- ② 地域を取り巻く環境の変化をくみ取り、行政への提言活動をしている。
- ③ 運営への理解・協力をいただくために、賛助会員の募集増強に力を入れている。
- ④ スタッフ・利用者一人一人が同じ名札を付けることで、共に当事者であるという意識を持ってもらうよう努力している。
- ⑤ 地域包括支援センターとの、協力関係を構築している。
- ⑥ 高齢者層だけでなく、子を持つ親御さんにも、「小学生の放課後学習サロン」を開催することで、地域の広い年齢層のお役に立つことを目指している。
- ⑦ 地域の一部医療機関との協力関係を構築している。

Q6 これから認定等の取得を目指す NPO 法人へのアドバイスをお願いします。

- ① NPO 法人設立時から計画的に、認定取得のための計画を策定し、実行してゆく。
- ② 認定取得のための実務者を作り、法人の構成員全員でかかわる協力体制を作る。
- ③ 認定取得を目指すのなら、早期に『埼玉県共助社会づくり課 NPO 認証担当』からのアドバイスを受け、準備してゆくことが肝要
- ④ 認定取得は始まりであり、取得後も継続的に体力を要する。5年ごとの更新も見据え、每期地道に内部管理面を維持・強化してゆくことが重要。
- ⑤ 小規模法人にとって、関われる人材は少ないので、実務を引継げる後継者づくりも必要。

(記入日:令和7年2月1日)